

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任			
外国語	英語コミュニケーション I	3	1年次		工藤慶文・小澤あづさ・吉村由紀			
使用教科書	Heartening English Communication I (桐原書店)		使用副教材	Heartening English Communication I WORKBOOK (桐原書店)				
科目の目標			道徳教育のねらい					
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。			1 言語活動による他者との関わりを通じて、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。 2 単元の題材を通じて、世の中の様々な事象に関心を持ち、積極的に関わる姿勢を養う。					
学習活動内容			育てたい6つの力 (資質・能力)					
			1 主体的学習力	2 基礎力	3 思考・分析力	4 発信・表現力	5 自他認知・協働力	6 計画実行力
1	授業 (リスニング・大意把握)		○	○				
2	授業 (リーディング・情報整理)		○	○				
3	授業 (リプロダクション・要約)			○	○			
4	授業 (ペア活動・グループ活動)	○				○		
5	パフォーマンステスト (スピーキング)			○	○			
6	パフォーマンステスト (ライティング)			○	○			
7	多読	○				○		
8	提出物	○					○	
9	小テスト	○	○					
10	課題確認テスト	○	○				○	
11	定期考査		○	○	○		○	
評価の観点	知識・技能	[知識] 学習した言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、一定の支援のもと文章等を聞く、読む、書く、または話す技能を身に付けている。(40%程度)	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
			コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、一定の支援のもと、日常的または社会的な話題について聞く、読む、書く、または話すことができている。 (40%程度)		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に聞く、読む、書く、または話そうとしている。 (20%程度)			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	課題への取組	実技テスト	小テスト	課題確認テスト	定期考査	
	知識・技能	○		○	◎	◎	○	
	思考・判断・表現	○		◎	○		◎	
	主体的に学習に取り組む態度	○	◎	○				

英語コミュニケーション I 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	Lesson 1 (10) Who is Your Hero?	一度夢を失いながらも憧れの存在を胸に練習に励み、史上最年少でグランドスラム優勝の夢を実現させた車いすテニスの小田凱人選手について学ぶ。	(主な言語材料) ・現在形／過去形／進行形 ・未来表現		
	5	Lesson 2 (10) Go, Anzu!	捨てられた小型犬が警察犬として活躍するまでを述べた物語文。個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす精神を培い、生命を尊ぶ態度を養う。	(主な言語材料) ・現在完了形／現在完了進行形 ・過去完了形／過去完了進行形		
	6	前期中間考査 Lesson 3 (10) We Can Make a Difference	世界の人々が受けている気候変動の影響と、問題への取り組みについて述べた説明文・意見文。自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。	(主な言語材料) ・助動詞 ・助動詞の過去形		
	7	Lesson 4 (10) Creative Problem Solving	人間の心理や行動の特徴を利用し、創造的にポイ捨てをなくす方法を述べた論証文。公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う。	(主な言語材料) ・様々な受動態 (be動詞＋過去分詞) ・前置詞		
	8	前期末考査				
	9	Lesson 5 (10) Canned Bread to Feed the World	食糧廃棄問題の解決と飢餓地域への支援を可能とするシステムを構築したパン・アキモトの取り組みを述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する精神を養う。	(主な言語材料) ・不定詞 (to+動詞の原形) /SV0+to do ・SV (知覚動詞・使役動詞) +0+動詞の		
	10	Lesson 6 (10) Could We Have a Real Jurassic Park?	恐竜再生の可能性について論じた説明文。幅広い教養を身に付け、真理を求める態度や道徳心を養う。	(主な言語材料) ・動名詞 (doing) ・SVC (分詞)		
	11	Lesson 7 (10) Behind the Price Tag	安価な衣類製造プロセスにおける労働者の実態を述べた説明文と、問題に対して対立する二者の意見文。正義と責任を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	(主な言語材料) ・SVOC (分詞) ・分詞構文		
	12	後期中間考査				
後	1	Lesson 8(10) The World's Winter Festivals	世界の冬の祭りを比較し、その共通性について論じた説明文。日本をはじめ他国の伝統や文化を尊重する精神を培う。	(主な言語材料) ・比較に関する表現 ・従属接続詞		
	2	Lesson 9 (10) Slackers in the Ant Nest	アリのコロニーに一定数いる働かないアリの存在を知り、その存在意義について考える。	(主な言語材料) ・関係代名詞 (who, which, that, whom, what) ・関係副詞 (when, where, why) /関係代名詞の非制限用法		
	3	後期末考査 Lesson 10(10) Capturing the Reality of the World	フォトジャーナリスト安田菜津紀氏が仕事を通じて学んだ使命について述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	(主な言語材料) ・仮定法過去／仮定法過去完了 ・仮定法を使った表現		